

# こんにちは 日本共産党

市會議員

発行: 2015年6月27日  
連絡先: 日本共産党伏見地区委員会  
TEL(611)9135 fax(602)9117



# 西野さち子です

# くらしの目線で市政を変える

# 强行許さない世論を広げよう!!

**守ろう 憲法9条!! 戦争法案は廃案に!!**



「憲法違反の  
戦争法案は廃  
案に!!」安倍内  
閣に対し、怒  
りを込めて訴  
える西野市議  
(石田生協前)



**7月5日(日) 午後4時～**

- 小栗栖市営の児童公園～醍醐駅までパレード
- その後醍醐駅前で署名行動と「私にも言わせて」リレートーク

数もジラの受け取りも増えています。

6月22日の石田生協前では、飛び入りで若い女性がマイクを握って訴えてくださいました。西野市議は「平和な時代に生きてきた私たちは、次の世代に平和を引き継ぐ責任があります。ご一緒に戦争反対の声をあげると良いです」と訴えました。

毎週月曜日に伏見区選出の府会2名  
市会3名の議員がそろって戦争法案反  
対の署名、宣伝をしています。地域の  
支部の皆さんも多く参加されています  
石田生協前と東大手筋を交互に行つ  
ていますが、回を重ねるごとに署名の

「平和を語り、聴き、守り、つなごう」  
第15回新婦人醍醐フェスティバル



6月21日、  
パセオダイゴ  
ローで第15  
回新婦人醍醐  
フェスティバルが開かれ、  
会場いっぱい

の参加者で準備した椅子やプログラムが足らなくなり、うれしい悲鳴でした。

朗読小組はとぶえの朗読でオープニング。醍醐にお住いの97歳の尾畠さんは長崎での被爆体験をマイクなしで話され、東山馬町の空襲のDVD、醍醐班の柴田さんの被爆体験、核不拡散N・Y行動参加の報告などがありました。

西野市議も参加し「1954年3月にアメリカがビキニ環礁で水爆実験をした事から始まった母親運動は世界に広がりました。女性が動けば政治が動きます。安倍内閣の戦争法案を撤回するために頑張りましょう」と発言しました。

A black and white photograph showing a wide, paved path or clearing in a park. The path is flanked by numerous large, mature trees with dense, spreading canopies. The perspective is looking down the path, which leads towards a distant building or structure visible through the foliage. The ground appears to be a mix of dirt and paved areas.

す。御所の迎賓館でも多くの木が枯れたことが頭をよぎりました。何百年もかけて作られてきた糺の森にマソシヨン建設は許されません。

名が持ち帰られたそうです。「署名用紙がほしい」と電話もかかってきていました。徐々に関心が広がってきています。壊してからでは取り返しがつきません。世界遺産のバッファゾーンだけでなく、コアゾーン（世界遺産そのものの範囲）にも倉庫が建つ計画ですから大問題です。

6月1の日、田本共産党のまちづくり委員会メンバー中心に、世界遺産の下賀茂神社境内に計画されるマンション建設の予定地を視察しました。

これ以上の京  
都の景観壊し  
を許せば、京  
都の世界遺産  
の危機ではな  
いでしょうか。  
地域の方々が

